

# 平成26年度 土木学会 西部支部沖縄会総会

日時：平成26年7月14日(月) 16時40分～17時10分

場所：那覇市厚生会館

## 議事次第

進行：事務局

### 1. 会長からのあいさつ

### 2. 審議内容

#### 【第1号議案】

#### 平成25年度報告（案）

- ① 平成25年度 事業報告（案）
- ② 平成25年度 収支決算書（案）

#### 【第2号議案】

#### 会運営に係る事項の追加・変更について

- ① 沖縄会会長及び会計監事の選出について
- ② 沖縄会の体制について

#### 【第3号議案】

#### 平成26年度事業（案）

- ① 平成26年度 主要事業計画（案）
- ② 平成26年度 予算書（案）

### 3. その他

#### 【参考資料】

参考1 土木学会西部支部 沖縄会 規約

## 平成25年度 事業報告(案)

1. 沖縄会運営委員会 (H25.06.21) 那覇市 厚生会館 参加者：16名(委任状含む)
2. 沖縄会定期総会 (H25.06.21) 那覇市 厚生会館 参加者：71名(委任状含む)
3. 講演会等の開催
  - ①講演会『トルコ150年の夢 アジアとヨーロッパを結ぶ海峡横断鉄道の建設』(26.04.25)  
那覇市 沖縄県立博物館美術館、  
参加者：沖縄工業高校生(108名)、琉球大学土木学生(58名)、一般(33名)  
内 容：①ポスボラス海峡トンネル工事の施工について  
②億首ダム工事におけるI CT施工について
4. 技術研究発表会等
  - ① The 12th Japan-Korea Joint Symposium on Steel Bridges(第12回日韓鋼橋ジョイントシンポジウム)  
(H25.08.22)【主催：J-K Symposium、琉球大学構造研究室、協賛：沖縄会】参加：約100名  
西原町 琉球大学工学部
  - ② 第3回土木学会西部支部沖縄会技術研究発表会 (H25.10.01) 参加：68名  
西原町 琉球大学 50周年記念館
5. 広報活動
  - ① 「橋の日」清掃活動 (H25.8.2) 国道58号新牧港橋(浦添市) 清掃活動★上野自治会・子供会参加  
【共催：沖縄会、琉大工学部土木学生及び土木同窓会、沖総局開発部】参加者：約70名
  - ② 土木の日シンポジウム (H25.11.20) 地震災害ーその予測と予防ー 沖縄地域が備えるべき防災・減災力  
那覇市 パレット市民劇場 参加者：約300名(内cpd18)  
【沖縄の土木技術を世界に発信する会委員会事業、土木学会西部支部支援事業】
6. ホームページの管理、運営
  - ・講習会の開催等に合わせて適宜情報発信  
<http://www.jsce-oki.tec.u-ryukyu.ac.jp/index.html>
7. 見学会等
  - ① テクニカルツアー (H25.08.24 ~合同：第12回日韓鋼橋ジョイントシンポジウム~)  
伊良部大橋架設現場見学、参加者：12名
  - ② 夏休み特別企画「発見・おどろき・感動」の見学会 (H25.08.14) 参加者：47名  
リサイクル工場①(浦添市)、リサイクル工場②(南城市)、首里城
8. その他
  - 1 幹事会
    - ① 第一回幹事会 (H25.11.08) 沖縄総合事務局 (2F) 参加者：16名
    - ② 第二回幹事会 (H26.03.25) 沖縄総合事務局 (3F) 参加者：14名
    - ③ 第三回幹事会 (H26.05.20) 沖縄総合事務局 (1F) 参加者：15名
  - 2 技術委員会等
    - 橋梁長寿命化小委員会 2回開催

## 平成25年度収支決算書(案)

(単位:円)

収支科目	平成25年度 予算額 (a)	平成25年度 決算額 (b)	差異(a)-(b)	備考
<b>I 事業活動収支の部</b>				
1.事業活動収入				
(1)会費収入	(300,000)	(235,000)	65,000	
①法人	300,000	235,000	65,000	5000円*(60社→47社)
(2)ランチ支援金	(150,000)	(120,000)	30,000	
①ランチ支援金	150,000	120,000	30,000	西部支部交付(世界に発信会へ)
(3)事業収入	(100,000)	(17,000)	83,000	
①行事収入	100,000	17,000	83,000	
①-1総会会費収入	0	0	0	
①-2定例会会費収入	0	0	0	
①-3講演講習会収入	100,000	17,000	83,000	講習会等(2回)
①-4研究調査発表会収入	0	0	0	
(4)雑収入	0	(99)	△ 99	
①受取利息・配当金	0	99	△ 99	銀行利子
(5)繰入金収入	0	0	0	
①支所繰入金収入	0	0	0	
事業活動収入(A)	(550,000)	(372,099)	177,901	
2.事業活動支出				
(1)事業費支出	(760,000)	(397,915)	362,085	
①講習会費	180,000	21,159	158,841	講習会等(2回)
②研究発表会費	90,000	136,975	△ 46,975	
③広報費	230,000	154,079	75,921	橋の日・土木の日
④現場見学会費	130,000	59,897	70,103	夏休み企画
⑤その他、総会	130,000	25,805	104,195	
⑥拠出金	0	0	0	
(2)管理費	(30,000)	(15,000)	15,000	HP管理費等
(3)繰越金支出	0	0	0	
①特別会計繰越支出				
事業活動支出計(B)	(790,000)	(412,915)	377,085	
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)	△ 240,000	△ 40,816	△ 199,184	
<b>II 投資活動収支の部</b>				
1.投資活動収入				
(1)特定貯金取崩収入	0	0		
①支部運営積立貯金取崩収入				
投資活動収入計(D)	0	0		
2.投資活動支出	0	0		
(1)固定資産取得支出	0	0		
(2)特定貯金支出	0	0		
①支部運営積立貯金支出	0	0		
投資活動支出計(E)	0	0		
投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	0	0		
<b>III 予備費支出(G)</b>				
当期収支差額(H)=(C)+(F)+(G)	△ 240,000	△ 40,816	△ 199,184	
前期繰越収支差額(I)	576,039	576,039	0	
次期繰越収支差額(H)+(I)	336,039	535,223	△ 199,184	
*講演会費(4/25)	0	242,778	△ 242,778	2014.4.25幹事会講演会

# 平成25年度 監査報告書

平成25年度(社)土木学会西部支部沖縄会の収入・支出及び財産につき関係諸帳簿及び、証拠書類を監査の結果、適正かつ正確に経理されていることを確認する。

平成26年 6月 26日

監査役 琉球大学工学部 教授

有住廉則



監査役 (社)沖縄県測量建設コンサルタント協会 会長

池村 弘



## 沖縄会会長及び会計監事の選出について(案)

○ 沖縄会規約第12条によると役員任期は2カ年と規定されている。平成25年度総会で満2カ年に達していないことにより体制が延長され現在に至る。現体制は既に2カ年を経過していることから、沖縄会 規約第10条、第12条及び、沖縄会会長選出申し合わせ事項に基づき新役員を選任を提案する。

※現体制:【参考-4】

### 土木学会西部支部 沖縄会 規約(抜粋)

#### (役員選任)

第10条 役員選任方法は、次のとおりとする。

1. 会長および会計監事は本会に所属する会員の中から幹事会及び運営委員会の審議を経て総会で選任する。
2. 副会長は会長が委嘱する。
3. 運営委員、幹事長及び副幹事長並びに幹事は会長が委嘱する。

#### (役員任期)

第12条 役員任期は2ヶ年とする。ただし、再任は妨げない。

- 2) 任期中の異動等により任務の遂行が不可能となった場合、原則として前任者の所属する機関からの推薦を受けるものとする。この場合、任期は前任者の残存期間とする。

付則) 1. この規約は平成23年9月20日より施行する。

4. この規約は平成24年7月4日より施行する。

+++++ ☆ +++++ ☆ +++++

### 沖縄会会長選出に係る申し合わせ事項

第1条 会長は、原則として下記に掲げる機関から輪番で選出するものとする。

琉球大学 工学部  
内閣府 沖縄総合事務局  
沖縄県

第2条 会計監事は、原則として運営委員機関から選出するものとする。

第3条 副会長は、第1条に掲げる機関のうち、会長が選出されていない機関から、会長が委嘱することを基本とする。

第4条 幹事長は、会長を選出している機関から、会長が委嘱することを基本とする。

第5条 副幹事長は第1条に基づき輪番で次期会長が選出される予定の機関から、会長が委嘱することを基本とする。

- 2) 副幹事長所属の機関は総会・運営委員会・幹事会等に係る運営事務を担う。

付則) 1. 本申し合わせ事項は平成25年6月25日より施行する。

## 平成26年度 主要事業計画（案）

### 1. 土木学会西部支部沖縄会総会

#### (1) 企画内容等

年1回総会を開催する。

#### (2) 開催日時

平成26年6月

### 2. 講演会の開催【主催：幹事会】

#### (1) 企画内容等

講演会を1回程度開催する。

#### (2) 開設時期

平成27年1月頃で調整する。

### 3. 講習会等の開催【主催：幹事会、技術委員会】

#### (1) 企画内容等

講習会（CPDS／CPD）等を開催する。

#### (2) 開設時期

随時

### 4. 技術研究発表会等【主催：幹事会】

#### (1) 企画内容等

大学の研究の外、主要発注機関、コンサルタント等から発表論文を募集し、年に1回開催する。

#### (2) 開催日時

平成25年9月下旬頃

### 5. 広報活動【主催：委員会、幹事会】

#### (1) 土木の日シンポジウム

- ・土木の日（11月18日）にあわせ、土木工学に係るシンポジウムを開催。
- ・開催日時：平成26年11月中旬

#### (2) 橋の日イベント

- ・橋の日（8月4日）にあわせ、県内橋梁の清掃、歴史調査などを行う。
- ・開催日時：平成26年8月上旬

#### (3) 出前講座

- ・土木工学、土木事業の広報
- ・対象：小中学生等

6. ホームページの管理・運営【幹事会】

(1) 企画内容等

各種情報提供、情報交換、広報等に活用。

(2) 開設時期

通年

7. 現場見学会等【主催：幹事会】

(1) 企画内容等

土木に親しみを持ってもらうために、国、県の大規模工事の現場等で現地見学を実施する。親子での参加、又は学生（工業高校、大学生）、女性を対象。

(2) 開催日時

平成26年夏頃

8. その他

(1) 土木学会西部支部技術研究発表会の支援（幹事会）

- ・ 沖縄(琉球大学)開催の支援を行う
- ・ 開催日時:平成27年3月7日

平成26年度予算書(案)  
一 般 会 計

【第3号議案】-②

(単位:円)

収支科目	平成26年度 予算額(a)	平成25年度 予算額(当初)(b)	差異(a)-(b)	備考
I 事業活動収支の部				
1.事業活動収入				
(1)会費収入	(300,000)	(300,000)	0	
①法人	300,000	300,000	0	5000円 * 60社
(2)ランチ支援金	(120,000)	(150,000)	△ 30,000	
①ランチ支援金	120,000	150,000	△ 30,000	支部交付金(発信する会へ)
(3)事業収入	(70,000)	(100,000)	△ 30,000	
①行事収入	70,000	100,000	△ 30,000	
①-1総会会費収入	0	0	0	
①-2定例会会費収入	0	0	0	
①-3講演講習会収入	70,000	100,000	△ 30,000	
①-4研究調査発表会収入	0	0	0	
(4)雑収入	(0)	(0)	0	
①受取利息・配当金	0	0	0	
(5)繰入金収入	(0)	(0)	0	
①支所繰入金収入	0	0	0	
事業活動収入(A)	(490,000)	(550,000)	△ 60,000	
2.事業活動支出				
(1)事業費支出	(783,000)	(760,000)	23,000	
①講習会費	350,000	180,000	170,000	講演4/25、H27/1
②研究発表会費	98,000	90,000	8,000	
③広報費	155,000	230,000	△ 75,000	橋の日・土木の日
④現場見学会費	105,000	130,000	△ 25,000	夏休み企画
⑤その他、総会	75,000	130,000	△ 55,000	H26.7.14
⑥拠出金	0	0	0	
(2)管理費	(35,000)	(30,000)	5,000	
(3)繰越金支出	(0)	(0)	0	
①特別会計繰越支出	(0)	(0)	0	
事業活動支出計(B)	(818,000)	(790,000)	28,000	
事業活動収支差額(C)=(A)-(B)	△ 328,000	△ 240,000	△ 88,000	
II.投資活動収支の部				
1.投資活動収入				
(1)特定貯金取崩収入	(0)	(0)	0	
①支部運営積立貯金取崩収入	(0)	(0)	0	
投資活動収入計(D)	(0)	(0)	0	
2.投資活動支出				
(1)固定資産取得支出	(0)	(0)	0	
(2)特定貯金支出	(0)	(0)	0	
①支部運営積立貯金支出	(0)	(0)	0	
投資活動支出計(E)	(0)	(0)	0	
投資活動収支差額(F)=(D)-(E)	0	0	0	
III.予備費支出(G)				
当期収支差額(H)=(C)+(F)+(G)	△ 328,000	△ 240,000	△ 88,000	
前期繰越収支差額(I)	535,223	535,223	0	
次期繰越収支差額(H)+(I)	207,223	295,223	△ 88,000	